

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公表番号】特表 2002-530512(P2002-530512A)

【公表日】平成 14 年 9 月 17 日 (2002.9.17)

【出願番号】特願 2000-584020(P2000-584020)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/58 (2006.01)

A 6 1 F 5/44 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

C 0 9 K 3/00 R

A 4 1 B 13/02 J

A 6 1 F 5/44 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 27 日 (2006.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 熱可塑性ポリマー繊維の繊維状の繊維層または不繊維層を含むバックングを備え、前記バックングが、シリコーン剥離層を備えた前記繊維状層から形成された第 1 の側と、前記第 1 の側と反対に位置し、感圧接着剤層をその上方に有する第 2 の側とを含む接着剤テープであって、前記シリコーン剥離層は、( i ) アクリレートおよび/またはメタクリレート基を有するポリジアルキルシロキサンと、( i i ) ケイ素を含まず、アクリレートまたはメタクリレート基から選択された少なくとも 2 個の反応性基を含む有機化合物とを含む硬化可能な組成物の硬化反応生成物を含み、ポリエチレンフィルム表面に対する 90°剥離接着力が少なくとも 6 N / 2 . 5 4 c m で、ケイル試験値が 1 N / 2 . 5 4 c m 以下である、接着剤テープ。

【請求項 2】 前記バックングが、前記繊維状層とプラスチックフィルム層とのラミネートを含む請求項 1 記載の接着剤テープ。

【請求項 3】 前記ポリジアルキルシロキサンのジアルキルシロキサン単位の平均数対アクリレートおよびメタクリレート基の平均数の比率が 10 ~ 15 であり、前記有機化合物の粘度が 25 以上で少なくとも 500 m P a ・ s である請求項 1 記載の接着剤テープ。

【請求項 4】 前記ポリジアルキルシロキサンがポリジメチルシロキサンである請求項 1 記載の接着剤テープ。

【請求項 5】 吸収体物品用の複合体接着剤封止タブを切り出し可能な、ロールの形態にあるプレラミネート複合体テープであって、

前記プレラミネート複合体テープが接着剤テープを含み、前記接着剤テープが、熱可塑性ポリマー繊維の繊維状の繊維層または不繊維層を含むバックングを備え、前記バックングは、シリコーン剥離層を備えた前記繊維状層から形成された第 1 の側と、前記第 1 の側と反

対に位置し、感圧接着剤層をその上方に有する第2の側とを有し、前記シリコン剥離層は、(i)アクリレートおよび/またはメタクリレート基を有するポリジアルキルシロキサンと、(ii)ケイ素を含まず、アクリレートまたはメタクリレート基から選択された少なくとも2個の反応性基を含む有機化合物とを含む硬化可能な組成物の硬化反応生成物を含み、前記接着剤テープは、ポリエチレンフィルム表面に対する90°剥離接着力が少なくとも6N/2.54cmで、ケイル試験値が1N/2.54cm以下であり、

前記バックキングの第1の軸の伸張部分が前記感圧接着剤層上に配置されたメカニカルファスナーを有し、前記バックキングの第2の軸の伸張部分が吸収体物品の端部に取り付けるための露出した感圧接着剤層を有する、プレラミネート複合体テープ。

【請求項6】 (i)アクリレートおよび/またはメタクリレート基を有し、ジアルキルシロキサン単位の平均数対アクリレートおよびメタクリレート基の平均数の比率が10~15であるポリジアルキルシロキサンと、

(ii)ケイ素を含まず、アクリレートおよびメタクリレート基からなる群より選択された少なくとも2個の反応性基を含む有機化合物であって、25で少なくとも500mPa・sの粘度を有し、前記ポリジアルキルシロキサン対前記有機化合物の重量比が8:92~35:65である有機化合物と、

を含む剥離コーティング組成物を硬化することにより得られる剥離コーティング。